

高退互報

退職・現職両会員配布

第109号

令和7年7月8日

発行 一般財団法人 愛知県公立高等学校教職員退職互助会

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目49番10号 愛知県教育会館5F TEL (052) 261-2248

*ホームページ <http://www.saturn.dti.ne.jp/aitikoti/index.html> FAX (052) 241-0318



ホームページは「高退互」で検索してください。愛知県退職教職員互助会は小・中学校の互助会ですのでご注意ください。



ご挨拶

理事長 栗木 晴久

この度、七月二日に行われた理事会におきまして、理事の皆様のご同意により、公立高等学校教職員退職互助会の理事長を仰せつかることとなりました。もとより微力ではございますが、理事の皆様のお力添えをいただきつつ、理事長の職責を果たすべく精一杯尽力してまいりたいと存じます。皆様のご協力をなにとぞお願いいたします。

昨年度は高等学校の全日制課程において、全ての学年で、新学習指導要領が実施された年でした。各学校では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、生徒一人一台端末の環境を生かしながら、生徒が主語となり、探究的に学ぶ授業の推進を目指しています。

さて、昨今も国内外では多くの困難がありました。道半ばの復興、不安定な政治や経済、賃金の上昇は見られるものの物価高騰には追い付かず、安定した生活には課題が残っています。今年には「団塊の世代」が全員七十五歳以上になる年であり、いわゆる二〇二五年問題に直面しています。後期高齢者が全人口の約五人に一人を占める見通しで、高齢化が一層進行します。このような中、医療保険制度においては、後期高齢者の医療費の窓口二割負担の緩和措置の終了、延期になったものの高額療養費の上限額の引き上げ問題、医療の高度化等による医療費の増大等が懸念されています。本会では、現制度における退職会員すべての生涯にわたる給付予想額、いわゆる責任準備金は確保しています。しかしながら、会員の皆様が安心して今後の生活を過ごせるよう、本会を安定的に引き継いでいくために制度を検討していくことになりました。こうした社会情勢の中で本会の存在意義はいよいよ大きくなっていると思います。会員の皆様には引き続き本会へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理事会・評議員会の報告

- ・増加し続けていた退職会員数が定年制延長等により減少に転じたが、療養補助金給付額は前年度より約1,859万円増加した。
- ・令和6年度は定年退職者がいないことで出資金が激減した。収入不足を補うため互助事業の定期預金、償還債券で各1億円ずつ計2億円を取り崩した。

第270回理事会が5月22日に開催され、令和6年度の事業報告及び決算報告、さらに令和7年度の事業計画と予算案などが承認されました。事業報告及び財産と収支の概要は2面、3面に掲載しています。

6月20日には、第106回評議員会、さらに7月2日には第271回理事会が開催され、理事長に栗木晴久氏が選任されました。役員一覧は2面に掲載しています。

「制度・財政検討委員会」での審議内容

75歳以上の医療費2割負担化、医療の高度化や長寿命化等によって生涯医療費は増加し、本会の療養給付が増加している。また、自己負担を増加させるさらなる医療制度改正も想定される。一方で物価高騰と賃金引き上げ等による管理費の増加、定年制延長による隔年毎の収入不足を補うための資産の取り崩しによる運用益減少等により余剰金が急減している。本会の財政を安定させ「生涯にわたり医療費の心配をさせない」という目的を達成するために、療養補助金給付事業をはじめとした全事業について早急に見直しを進める必要がある。